

評価センター提供用データの作成マニュアル

目 次

1	システム及びデータのインストールについて	1
2	システムの起動について	2
3	令和6年度評価替え対応処理について（事前処理）	5
4	図形、データ入力及びデータ更新等の処理方法について	10
5	評価センター提供用データの出力方法について	27
6	時点修正後価格のデータを提供する市町村について	30
7	「全国地価マップ」における「時点」の表示について	31

評価センター提供用データ作成の流れ

システム及びデータのインストール、システムの起動について…1～4 ページ

令和6年度評価替え対応処理（事前処理）を行う…5～10 ページ

各価格や時点修正率等の入力前に図形の編集処理を行う…10 ページ

○路線価の属性データの更新

業務管理システムでテキストファイルに出力、エクセルで表示…11～15 ページ

路線価・時点修正率等の属性データを入力し保存…15～17 ページ

テキストファイルを業務管理システムに読み込む（上書き）…17～19 ページ

○標準宅地の属性データの更新

業務管理システムでテキストファイルに出力、エクセルで表示…19～23 ページ

標準宅地価格・時点修正率等の属性データを入力し保存…24, 25 ページ

テキストファイルを業務管理システムに読み込む（上書き）…25, 26 ページ

データ入出力プログラムで提供用データを出力する…27～29 ページ

評価センター提供用データ完成…29, 30 ページ

CD・DVDに提供用データをコピーして都道府県の市町村税担当課へ提出（時点修正後の価格を提供する市町村についてはCD等及びCD等のケースに貼付するラベル等に朱書きで「時点修正後」と表示してください）
…30 ページ

1 システム及びデータのインストールについて

今回、提供を依頼する令和6年度課税分の固定資産税路線価等公開情報に係るデータを作成するに当たっては、「路線価等業務管理システム Ver. 5.00」（以下、「路線価等システム Ver5.00」という。）がパソコンにインストールされていることが前提となりますのでご注意ください。

なお、本マニュアルで使用しているエクセルのバージョンは2019です。

(1) 「路線価等システム Ver. 5.00」のインストール

パソコンに「路線価等システム Ver. 5.00」がインストールされていない場合は、以下①②どちらかの方法でインストールしてください。なお、当センターHP⇒トップ画面左のメインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」⇒「路線価等システム Ver. 5.00 インストールプログラムのダウンロード」⇒「路線価等システム Ver. 5.00 インストールマニュアル」も併せて参照ください。

- ①令和5年7月に配付したDVD-ROMからインストール。なお、インストールマニュアルでは平成29年7月配布のDVDからインストールと記載しておりますが、それ以降に配付しているDVDからもインストールは可能です。DVDをセット後、「RosenInstall.exe」（又RosenInstallStart.exe）を実行すると、インストールが始まります。
- ②当センターホームページ(<https://www.recpas.or.jp/>) トップ画面左のメインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」の「路線価等システム Ver. 5.00 インストールプログラムのダウンロード」からダウンロード。こちらの場合、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありますので、メール（teisuytsu@recpas.or.jp）でお問い合わせください。お電話での回答はできませんのでご了承ください。

(2) 「路線価等データ」のインストール

パソコンに貴市町村の路線価等データがインストールされていない場合は、令和5年7月に配付したDVD-ROMに収録されている貴市町村のデータをインストールしてください。

また、例外として収録されているデータに修正があったことにより、データを再提供した市町村は、その再提供したデータがインストールされている必要があります。

- (3) 例外として、令和5年度課税分データの最終反映期限（令和5年5月19日）以降にデータを提供した市町村のデータは、(2)の「路線価等データ」（DVD-ROM）には収録されていませんので、反映期限以降に作成したデータがインストールされている必要があります。

2 システムの起動について

(1) デスクトップ画面

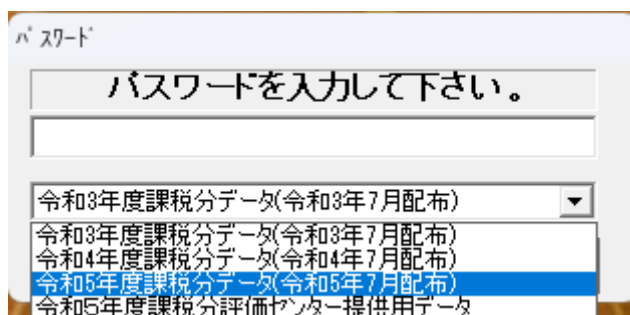
ここで説明するシステムの起動は、「業務管理システム Ver. 5.00」について説明します。パソコンに問題なくインストールされていると、デスクトップ画面上に以下の4つのアイコンが表示されます。

「業務管理システム Ver. 5.00」のアイコンを選択しクリックします。

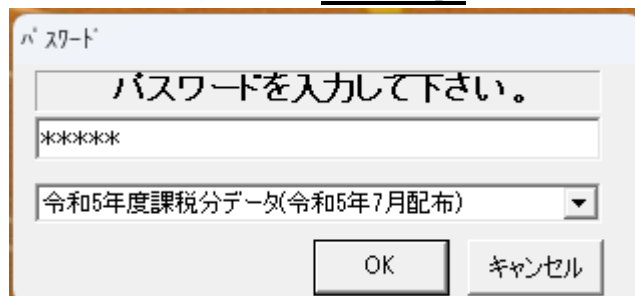


(2) パスワード等について

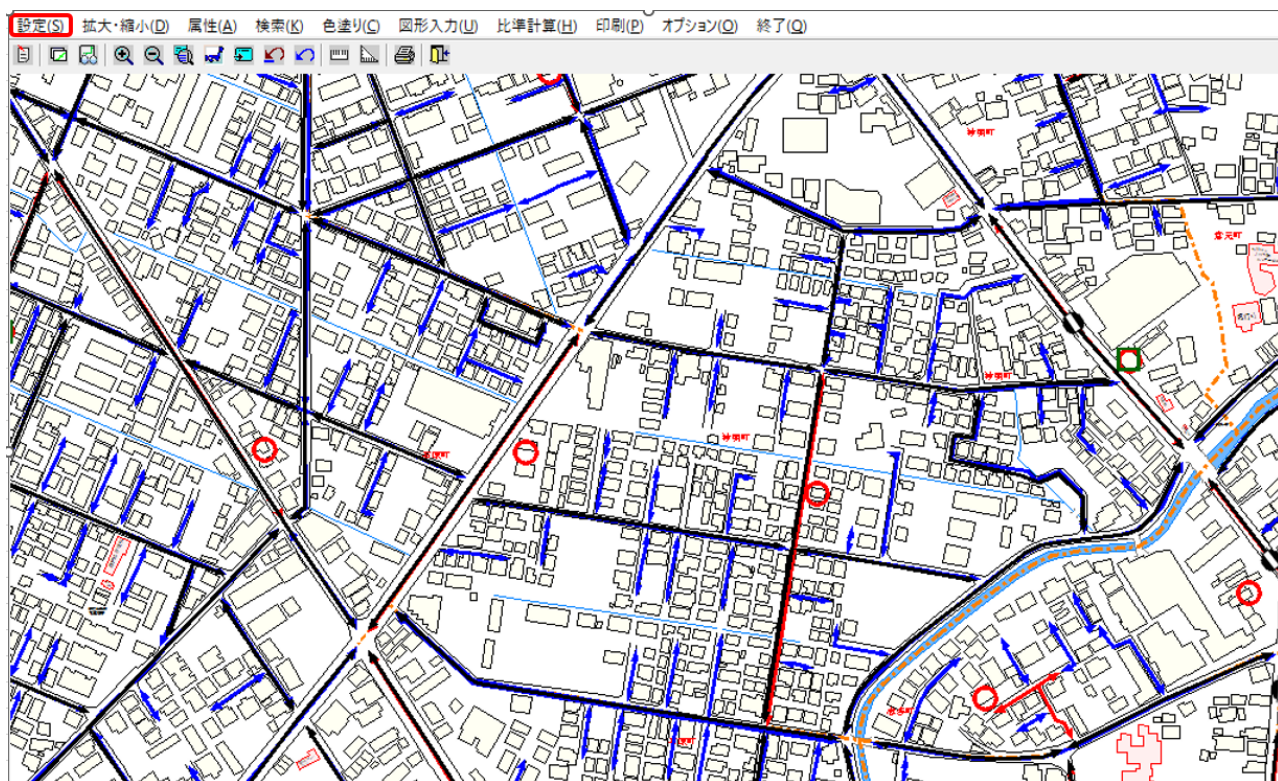
- ① パスワード入力欄下のプルダウンメニューをクリックすると、パソコンにインストールされているデータグループ名（各市町村のパソコンによって異なります。）が表示されます。



- ② 下の画面は、プルダウンメニューの中から、「令和5年度課税分データ（令和5年7月配布）」を選択した例です。なお、前述1の(2)及び(3)の例外としてデータを作成した市町村は、それぞれ適切なデータを選択してください。上段にパスワードを入力します。初期のパスワードは「kotei」（半角英数字）で設定してあります。なお、前述の4つのアイコンの「業務管理システム Ver. 5.00」以外の他のアイコンのパスワードも、すべて「kotei」で設定されます。



[OK]をクリックすると、初期画面として貴市町村の役所・役場を中心に、縮尺1/3,000で、選択したデータグループの路線価線、標準宅地の位置が掲載された地図が表示されます。



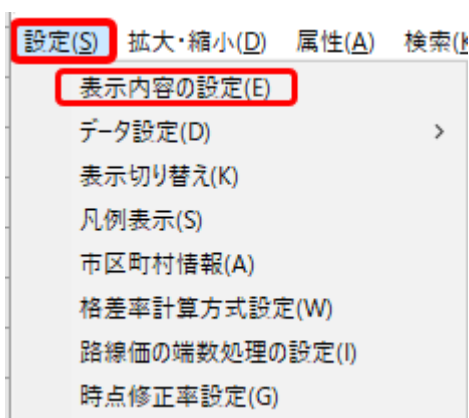
③ 【パスワードを変更する場合】

変更の設定は次のとおりです。変更した場合は、前述の4つのアイコンのパスワードもすべて変更されます。

表示された画面の左上の設定をクリックし、一番上の「表示内容の設定」をクリックしてください（画面①）。表示内容の設定画面が表示されます。左上の「パスワード設定」をクリックします（画面②）。「変更後パスワード」及び「パスワード確認入力」を入力してください（画面③）。パスワードは、50桁以内の半角英数字で設定してください。入力後、画面右下の[OK]をクリックして画面を閉じてください。

なお、パスワードを変更した場合は、所属内で適切な管理をお願いします。

<画面①>



<画面②>

表示内容の設定 Version 5.0.0

パスワード設定 | 表示項目設定

その他表示項目 | 表示市区町村選択

データグループの選択
令和5年度課税分データ(令和5年7月配布)

業務管理市区町村
埼玉県 | ふじみ野市

その他の都道府県市区町村

表示対象の市区町村 | 表示非対象の市区町村
埼玉県

表示しない市区町村へ >> | << 表示する市区町村へ

全て選択 | 全て解除 | 全て選択 | 全て解除

初期化 | OK | キャンセル

<画面③>

表示内容の設定 Version 5.0.0

その他表示項目 | 表示市区町村選択

パスワード設定 | 表示項目設定

パスワード設定

変更後パスワード

パスワード確認入力

初期化 | OK | キャンセル

3 令和6年度評価替え対応処理について（事前処理）

次のとおり事前処理を行ってください。事前処理を行うことにより、時点修正率期間コード、時点修正率期間等が令和6年度評価替え基準年度に対応するように自動的に更新されます。P1 (2) の「路線価等データ」のインストール処理を実行後、以下手順に沿って進めてください。

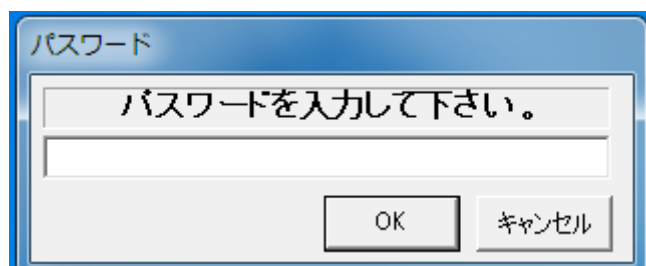
「データグループ管理プログラム」の起動

- ① デスクトップ画面上にある「データグループの管理」のアイコンをクリックします。



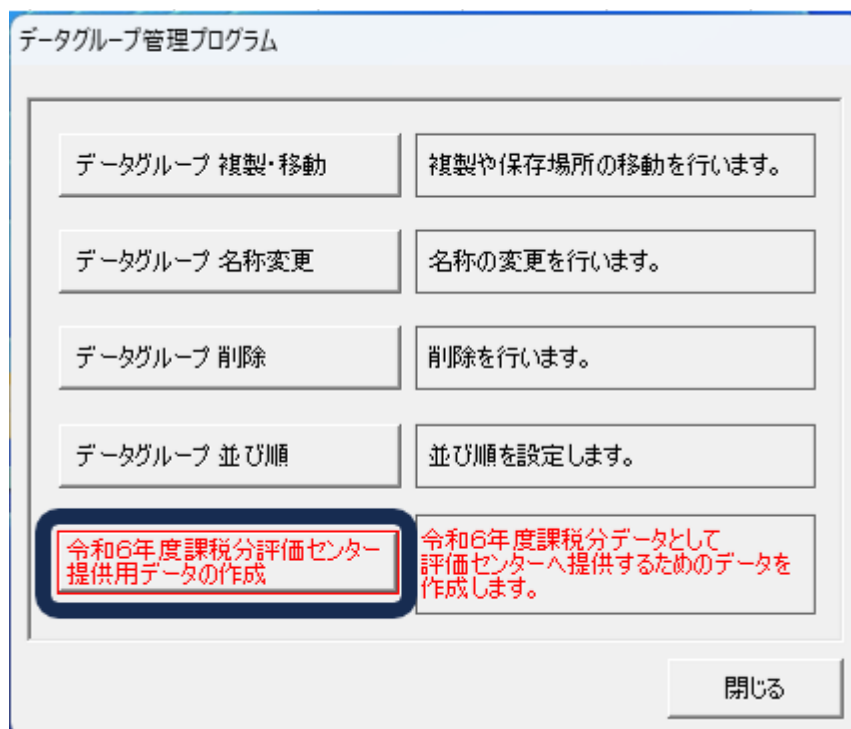
なお、デスクトップ画面上に「データグループの管理」のアイコンが表示されていない場合は、[スタートボタン]から→[路線価等システム]→[データグループ管理プログラム]と進み、[データグループ管理プログラム]をクリックします。

- ② 「パスワード」画面が表示されます。

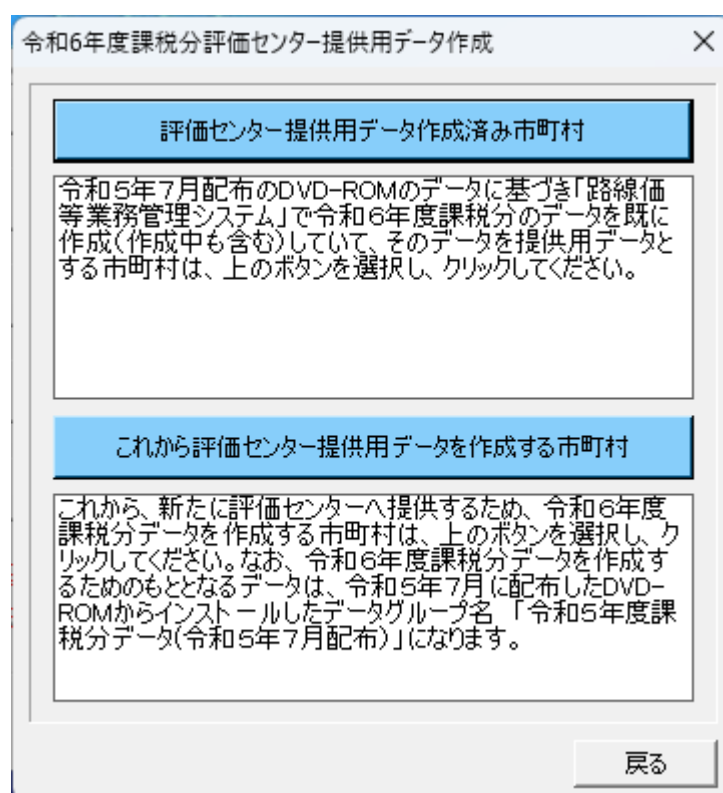


パスワードを入力します。初期のパスワードは「kotei」（半角英数）で設定してあります。「OK」をクリックします。

- ③ 「データグループ管理プログラム」画面が表示されます。
画面下の「令和6年度課税分評価センター提供用データの作成」（朱書き）をクリックします。



- ④ 「令和6年度課税分評価センター提供用データ作成」画面が表示されます。



現時点での貴市町村の令和6年度課税分評価センター提供用データの作成状況によって、「評価センター提供用データ作成済み市町村」または「こ

れから評価センター提供用データを作成する市町村」のどちらかを選択してクリックします。

○ 「評価センター提供用データ作成済み市町村」を選択した場合

① 「データグループの選択」画面が表示されます。

貴市町村の作成済み、もしくは作成中のデータグループを選択し、右下の「次へ」をクリックします。

データグループの選択

種別	名称	フォルダ	作成日
初期	令和2年度課税分データ(令和...	C:\ROSEN\AttMdb4001	2023年11月28...
初期	令和3年度課税分データ(令和...	C:\ROSEN\AttMdb4101	2022年4月6日
初期	令和4年度課税分データ(令和...	C:\ROSEN\AttMdb4201	2023年3月28日
初期	令和5年度課税分データ(令和...	C:\ROSEN\AttMdb4301	2023年7月20日
初期	平成27年度課税分データ(平...	C:\ROSEN\AttMdb3501	2023年10月30...
更新	令和5年度課税分評価センター...	C:\ROSEN\AttMdb001	2023年12月16

作成済み、もしくは作成中のデータグループを選択し「次へ」を押してください。

戻る 次へ

② 「令和6年度課税分評価センター提供用データ作成」画面が表示されます。

令和6年度課税分評価センター提供用データ作成

令和6年度課税分データは、次の属性データには何もデータが入力されていないはずで、
 従ってなんらかのデータが入力されていた場合には、全て削除されます。
 (路線価線属性) 時点修正率2~3、時点修正後価格(円/m²)の中央と右側の欄
 (標準宅地属性) 時点修正率2~3、時点修正後価格(円/m²)の中央と右側の欄
 (状況類似地域属性) 時点修正率2~3

路線価線属性

路線価番号	街路種別			
状況類似地域番号	用途地区			
路線価(円/m ²)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3	
	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1	
	時点修正後価格(円/m ²)			
新路線価(円/m ²)	総括格差率			
	総合調整格差率			

時点修正率値に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

価格形成要因属性 閉じる

標準宅地属性

標準宅地番号	基準・標準宅地			
所在	用途地区			
状況類似地域番号	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3	
価格(円/m ²)	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1	
	時点修正後価格(円/m ²)			

時点修正率値に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

閉じる

状況類似地域属性

状況類似地域番号	用途地区			
主要な街路の路線価番号				
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3		
R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1		

標準宅地属性 路線価線属性 閉じる

[] の部分が削除されます。

戻る 実行

- ア 右下の「実行」をクリックします。赤で示された項目部分が自動的に削除されます。
- イ 「処理を開始しますがよろしいですか？」の確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。
- ウ 処理の途中経過が画面上に表示されます。
- エ 「処理が終了しました。削除の処理をした属性別のリストを出力しますか？」の確認ダイアログが表示されます。必要に応じて「はい」または「いいえ」をクリックします。「はい」を選択すると、「路線価線属性」、「標準宅地属性」及び「状況類似地域属性」の削除項目欄(赤で示された項目)に何らかのデータが入っていた場合、当該削除項目をリストに出力することができます。
「いいえ」を選択した場合は、③（8ページ）へ進んでください。
- オ 「リストを出力するフォルダを指定願います。」のダイアログが表示されます。フォルダを指定して「OK」をクリックします。
- カ 「リスト保存しました。」のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。

③ 「データグループ管理プログラム」画面が表示されます。

- ア 右下の「閉じる」をクリックします。
- イ 「データグループ管理プログラムを終了しますか？」の確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。

これにより、「令和6年度課税分評価センター提供用データ」が作成されました。提供するデータの出力方法については、27ページ「5評価センター提供用データの出力方法について」を参照してください。

なお、作業中のためデータを追加、削除、訂正等する場合、今後はこの「令和6年度課税分評価センター提供用データ」を修正してください。

○ 「これから評価センター提供用データを作成する市町村」を選択した場合

- ① 「令和6年度課税分評価センター提供用データ作成」画面が表示されます。

削除項目 A を選択した場合の画面

令和6年度課税分評価センター提供用データ作成

削除項目選択

削除項目 A 削除項目 B

【削除項目 A】を選択した場合は、次の項目が削除されます。
 (路線価線属性)路線価(円/㎡)、時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (標準宅地属性)価格(円/㎡)、時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (状況類似地域属性)時点修正率1~3

【削除項目 B】を選択した場合は、次の項目が削除されます。
 (路線価線属性)時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (標準宅地属性)時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (状況類似地域属性)時点修正率1~3

※路線価・標準宅地の価格に変動が少ない市町村は
 こちらを選択してください。

路線価線属性

路線価番号	街路種別	用途地区	
状況類似地域番号			
路線価(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1
	時点修正後価格(円/㎡)		
新路価(円/㎡)	総括格差率		
	総合調整格差率		

時点修正率欄に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

標準宅地属性

標準宅地番号	基準・標準宅地		
所在			
状況類似地域番号	用途地区		
価格(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1
	時点修正後価格(円/㎡)		

時点修正率欄に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

状況類似地域属性

状況類似地域番号	用途地区	
主要な街路の路線価番号		
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1

削除項目 A を選択した場合、**■**の部分削除されます。

戻る 実行

削除項目 B を選択した場合の画面

令和6年度課税分評価センター提供用データ作成

削除項目選択

削除項目 A 削除項目 B

【削除項目 A】を選択した場合は、次の項目が削除されます。
 (路線価線属性)路線価(円/㎡)、時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (標準宅地属性)価格(円/㎡)、時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (状況類似地域属性)時点修正率1~3

【削除項目 B】を選択した場合は、次の項目が削除されます。
 (路線価線属性)時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (標準宅地属性)時点修正率1~3、時点修正後価格(円/㎡)の全て
 (状況類似地域属性)時点修正率1~3

※路線価・標準宅地の価格に変動が少ない市町村は
 こちらを選択してください。

路線価線属性

路線価番号	街路種別	用途地区	
状況類似地域番号			
路線価(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1
	時点修正後価格(円/㎡)		
新路価(円/㎡)	総括格差率		
	総合調整格差率		

時点修正率欄に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

標準宅地属性

標準宅地番号	基準・標準宅地		
所在			
状況類似地域番号	用途地区		
価格(円/㎡)	時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
	R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1
	時点修正後価格(円/㎡)		

時点修正率欄に「9999」と表示されている市町村は、時点修正率が未入力です。

状況類似地域属性

状況類似地域番号	用途地区	
主要な街路の路線価番号		
時点修正率1	時点修正率2	時点修正率3
R5.1.1~R5.7.1	R5.1.1~R6.7.1	R5.1.1~R7.7.1

削除項目 B を選択した場合、**■**の部分削除されます。

戻る 実行

ア 削除項目選択で「削除項目A」または「削除項目B」にチェックを入れます。右下の「実行」をクリックすると、赤で示された項目が自動的に削除されます。

イ 「処理を開始しますがよろしいですか？」の確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。処理の途中経過が画面上に表示されます。

ウ 「処理が終了しました。」のダイアログが表示されます。「OK」をクリックします。

② 「データグループ管理プログラム」画面が表示されます。

ア 右下の「閉じる」をクリックします。

イ 「データグループ管理プログラムを終了しますか？」の確認ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。

これにより、「令和6年度課税分評価センター提供用データ」のデータグループが作成されました。この「令和6年度課税分評価センター提供用データ」を、令和6年度課税分として提供するデータに内容を修正して評価センターにご提供をお願いします。修正方法は、次の「4 図形、データ入力及びデータ更新等の処理方法について」をご覧ください。

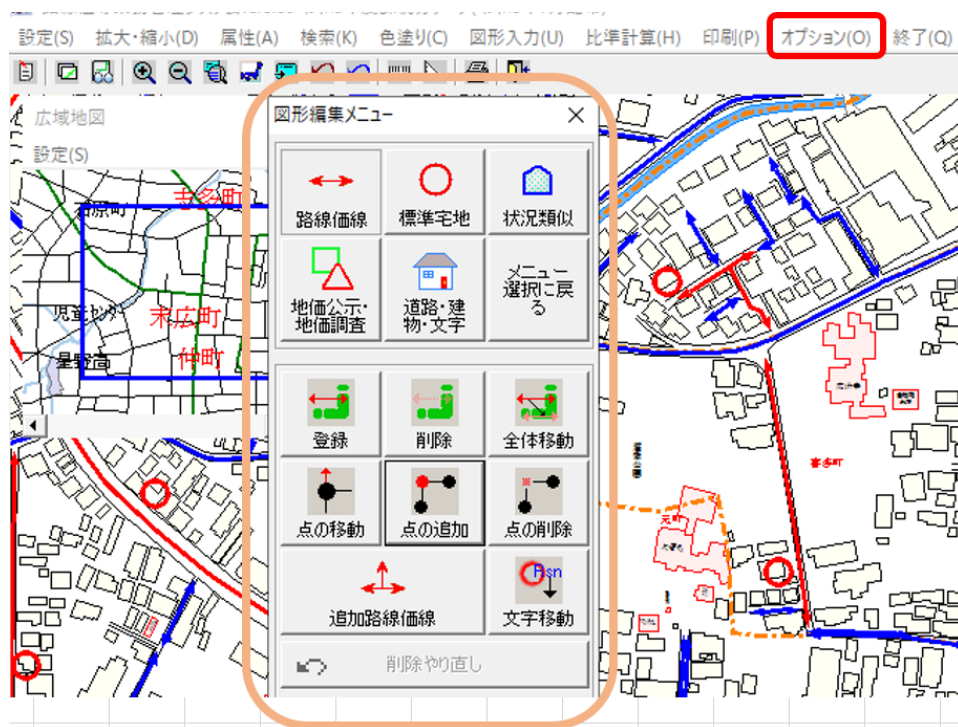
4 図形、データ入力及びデータ更新等の処理方法について

(1) 図形の処理について

業務管理システムは、路線や標準宅地の価格、時点修正率の属性を入力する前に、図形（路線価線・標準宅地）に係る処理を行う設計になっています。

路線価線、標準宅地、状況類似地域（区）を、新設・移動・削除した場合は、まず、その図形に係る新設・移動・削除の処理を行ってください。具体的な処理方法については、当センターホームページ(<https://www.recpas.or.jp/>)のトップページ画面左メインメニューの「路線価等公開情報のデータ提供」の「「路線価等業務管理システム」活用の手引き」をご覧ください。

画面上の「オプション」をクリックすると、「図形編集メニュー」が表示されます。

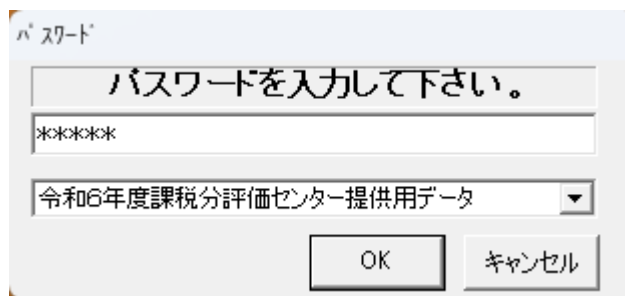


図形の処理が終わりましたら、図形の処理を必要としない市町村も併せて、貴市町村の宅地の評価方法の区分に応じて、次の①または②の処理に進んでください。

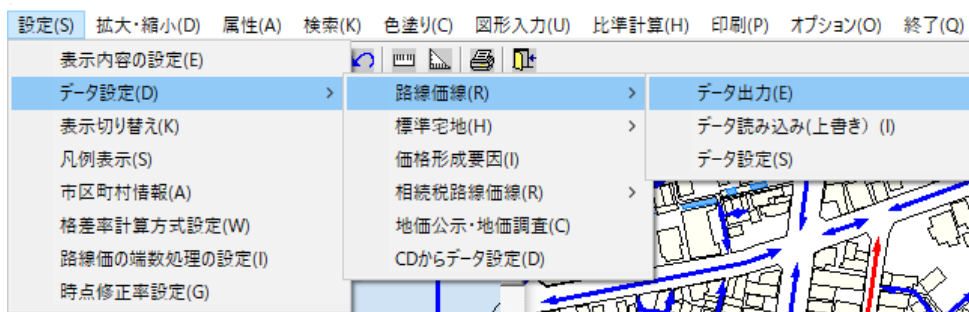
- ① 「市街地宅地評価法」を採用している市町村または「市街地宅地評価法」と「その他の宅地評価法」を併用している市町村は、11 ページ「(2) 路線価線属性データの一括入力」及び 19 ページ「(3) 標準宅地属性データの一括入力」
- ② 「その他の宅地評価法」を採用している市町村は、19 ページ「(3) 標準宅地属性データの一括入力」

(2) 路線価線属性データの一括入力

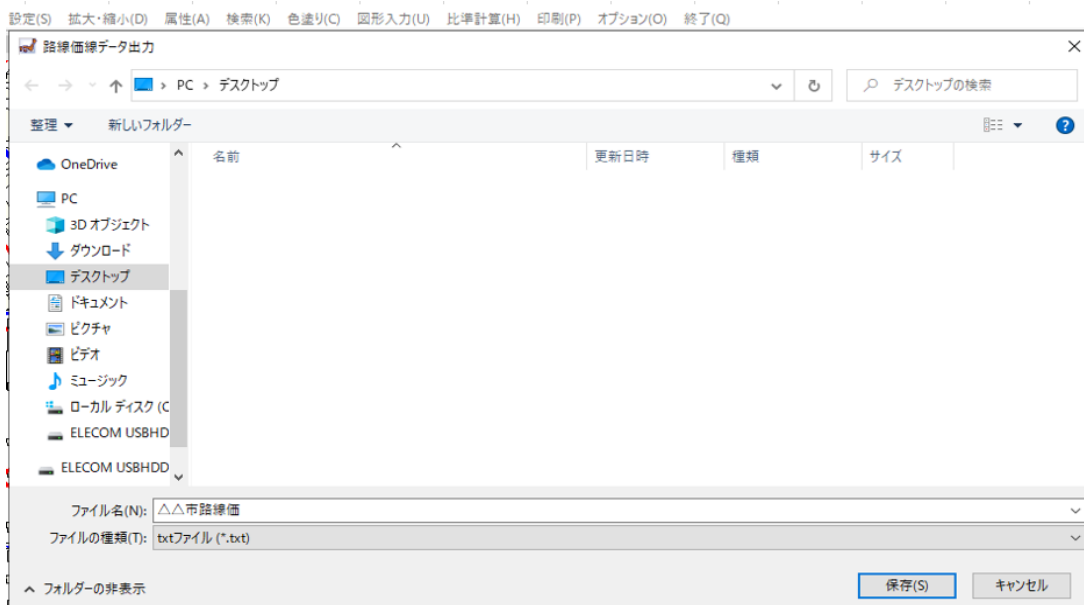
- ① 業務管理システムでは、貴市町村内の路線価線に係る属性データをエクセルシートで一括入力することができます。まず、デスクトップ画面にある「業務管理システム Ver. 5.00」のアイコンをクリックします。
パスワードを入力します。パスワード入力欄下のプルダウンメニュー（データグループ）から、「令和6年度課税分評価センター提供用データ」を選択し[OK]をクリックします。



ア 画面左上 [設定]→[データ設定]→[路線価線]→[データ出力]を実行します。



イ 「路線価線データ出力」の画面が表示されます。下方の「ファイルの種類」のプルダウンメニューから[txt ファイル (*.txt)]を選択します。出力したデータを保存する保存先を指定します。ここでは、保存先を「デスクトップ」としました。次に、下方の「ファイル名」に任意のファイル名（例えば「△△市路線価」）をつけて入力します。右下の[保存]をクリックします。



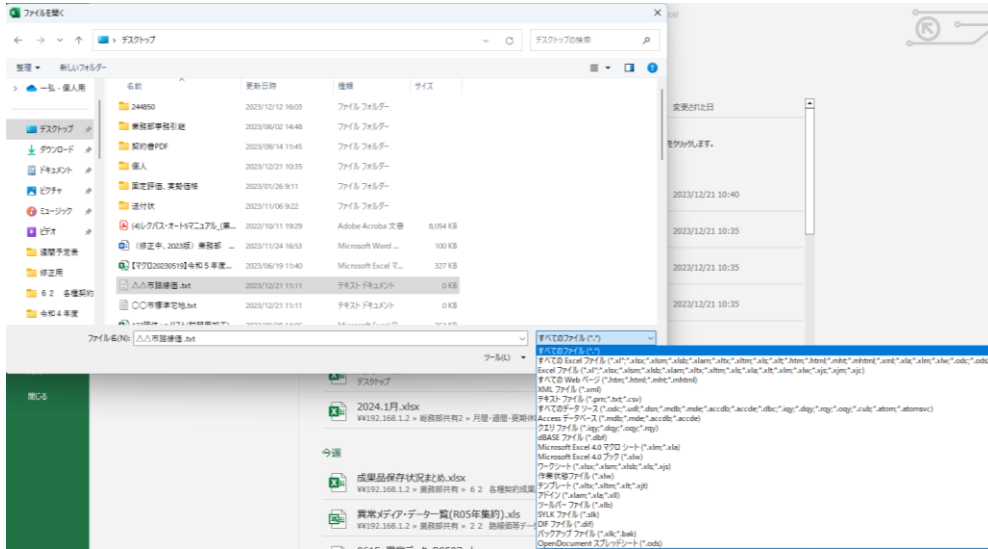
ウ 保存後、地図画面右上の最小化ボタンを押し、最小化してください。

② エクセルを起動し、①イでデスクトップに保存したファイルを開きます。

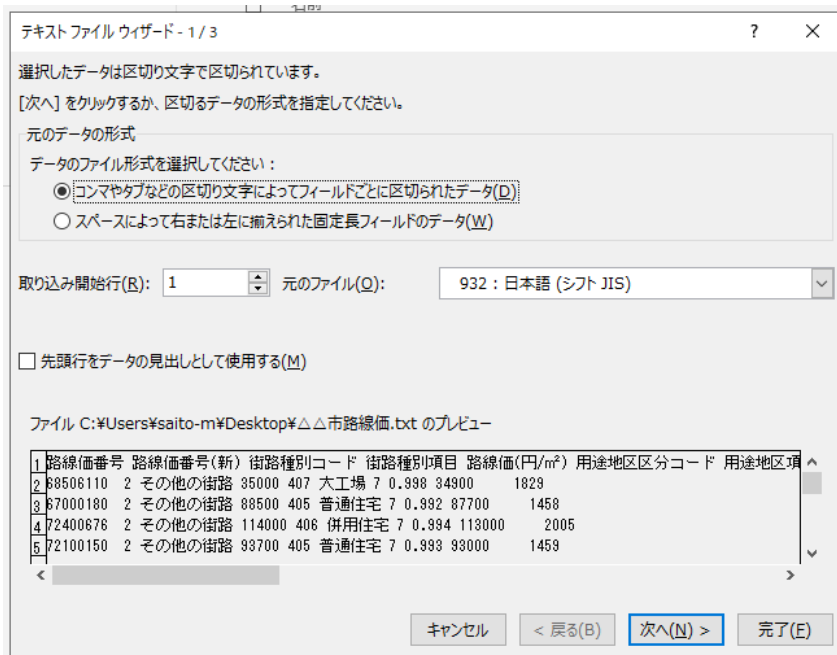
具体的な操作手順は、次のとおりです。

ア エクセルを起動し、[ファイル]→[開く]を実行します。

イ [ファイルを開く]の画面が表示されます。①イで指定した保存先「デスクトップ」を選びます。次に、下方右側のプルダウンメニューから「すべてのファイル」を選択すると、①イで保存したファイル（△△市路線価）が表示されます。



ウ △△市路線価を選択して、右下の[開く]をクリックすると [テキストファイルウィザード 1/3] の画面が表示されますので、右下の[次へ]をクリックします。



- エ 続いて [テキストファイルウィザード 2/3] の画面が表示されますので、右下の [次へ] をクリックします。

テキストファイルウィザード - 2/3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

コマ(C)

スペース(S)

その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(P)

路線価番号	路線価番号(新)	街路種別コード	街路種別項目	路線価(円/㎡)	用途地区区分コード	用途地区項目
88508110		2	その他の街路	85000	407	大工場
87000180		2	その他の街路	88500	405	普通住宅
72400876		2	その他の街路	114000	406	併用住宅
72100150		2	その他の街路	83700	405	普通住宅

キャンセル < 戻る(B) **次へ(N) >** 完了(E)

- オ 続いて [テキストファイルウィザード 3/3] の画面が表示されます。列のデータ形式の「文字列」にチェックを付けてください。「データのプレビュー」の路線価番号・路線価番号(新)・街路種別コード等のすべての項目について、シフトキーを押しながらカーソルを各項目の枠内でクリックして黒く反転させ、右下の [完了] をクリックします。

列のデータ形式「文字列」

テキストファイルウィザード - 3/3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

G/標準(G)

文字列(T)

日付(D):

削除する(L)

[G/標準] を選択すると、数字は数値に、日付は日付形式の値に、その他の値は文字列に変換されます。

詳細(A)...

データのプレビュー(P)

文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列
路線価番号	路線価番号(新)	街路種別コード	街路種別項目	路線価(円/㎡)	用途地区区分コード	用途地区項目
88508110		2	その他の街路	85000	407	大工場
87000180		2	その他の街路	88500	405	普通住宅
72400876		2	その他の街路	114000	406	併用住宅
72100150		2	その他の街路	83700	405	普通住宅

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > **完了(E)**

③ 路線価一覧表がエクセルシートで表示されます。(必要に応じて路線価番号順に並び変えてください)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
1	路線価番号	路線価	街路種別	街路種別項目	路線価(円/m)	用途地区	用途地区項目	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	状況類似地
2	68506110		2	その他の街路	35000	407	大工場	7	0.998	34900						1829
3	67000180		2	その他の街路	88500	405	普通住宅	7	0.992	87700						1458
4	72400676		2	その他の街路	114000	406	併用住宅	7	0.994	113000						2005
5	72100150		2	その他の街路	93700	405	普通住宅	7	0.993	93000						1459
6	70070130		2	その他の街路	101000	405	普通住宅	7	0.987	99600						1618
7	70072666		2	その他の街路	110000	405	普通住宅	7	0.988	108000						1615

※各自治体においてエクセルで各種資料を作成・管理している場合、路線価番号を突合して、路線価格や時点修正率等の属性情報をコピー&ペーストする等を行い、当センター提供用データの作成に活用することが可能と考えられます。

表示されるエクセルシートの列の項目は、次の順番で並んでいます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O

- A = 路線価番号 ※1
- B = 路線価番号(新)
- C = 街路種別コード ※2
- D = 街路種別項目 ※3
- E = 路線価(円/m²)
- F = 用途地区区分コード ※4
- G = 用途地区項目 ※5
- H = 時点修正率期間コード ※6
- I = 時点修正率(R5.1.1~R5.7.1)
- J = 時点修正価格(R5.1.1~R5.7.1)
- K = 時点修正率(R5.1.1~R6.7.1)
- L = 時点修正価格(R5.1.1~R6.7.1)
- M = 時点修正率(R5.1.1~R7.7.1)
- N = 時点修正価格(R5.1.1~R7.7.1)
- O = 状況類似地域番号

※1 Aの「路線価番号」欄には、各市町村が設定している路線価番号が入力されています。

※2 Cの「街路種別コード」欄には、各市町村が「主要な街路」と選定している路線には「1」が、「その他の街路」と選定している路線には「2」

が入力されています。空白の場合は、「主要な街路」には「1」を「その他の街路」には「2」を入力してください。街路種別が間違っていたら街路種別コードを入れ替えてください。

空白のためコードを入力した場合、又はコードを修正した場合は、C欄にコードを入力すればD欄に街路種別を入力する必要はありません。C欄にコードを入力することにより、D欄には自動的に「主要な街路」または「その他の街路」が表示されます。

※3 Dの「街路種別項目」欄には、Cの「街路種別コード」区分に応じて、「主要な街路」または「その他の街路」と表示されています。

※4 Fの「用途地区区分コード」欄には、各市町村が定めた用途地区に応じたコードが入力されています。空白の場合は、下表の「用途地区区分コード表」に基づき区分コードを入力してください。用途地区が間違っている場合は区分コードを変更してください。

空白のため、区分コードを入力した場合、又は区分コードを修正した場合は、F欄に区分コードを入力することにより、G欄には自動的に「用途地区名称」が表示されます。

※5 Gの「用途地区項目」欄には、各市町村が定めた用途地区区分コードに応じた用途地区名称が表示されています。

※6 Hの「時点修正率期間コード」欄には、「8」が入力されています。

用途地区区分コード表

用途地区区分コード	用途地区名称	用途地区区分コード	用途地区名称
400	繁華街	410	観光
401	高度商業Ⅰ	411	散在
402	高度商業Ⅱ	412	村落
403	普通商業	413	集落
404	高級住宅	414	商業
405	普通住宅	415	集団
406	併用住宅	416	その他
407	大工場	417	調整区域
408	中小工場	418	ビル街
409	家内工業	419	高度商業

④ 路線価一覧表の中のE列「路線価(円/㎡)」の欄には、市町村の窓口で一般の閲覧に供している路線ごとの路線価(カンマ「,」なしの生数字)を入力してくだ

さい。「全国地価マップ」の路線価は、このE列の路線価が表示されます。

価格調査基準日(令和5年1月1日)の路線価を一般の閲覧に供している市町村は、E列「路線価(円/㎡)」の欄に価格調査基準日の路線価を入力してください。

なお、時点修正後(令和5年7月1日)の路線価を一般の閲覧に供している市町村は、E列「路線価(円/㎡)」の欄に時点修正後の路線価を入力してください。

例年、E列が空白の市町村がありますので、入力漏れには十分注意してください。

- ⑤ 路線価一覧表の中のI列「時点修正率(R5.1.1～R5.7.1)」の欄には、価格調査基準日から賦課期日の半年前(令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間)までの間の地価下落を評価に反映させた場合は、その時点修正率を入力してください。

(例) 令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間に地価が2.5%下落し、それを評価に反映させた場合は、「0.975」と入力してください。時点修正率は、小数点以下第3位まで表示できます。

なお、令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間の下落修正を行わなかった場合は「1.000」と入力してください。

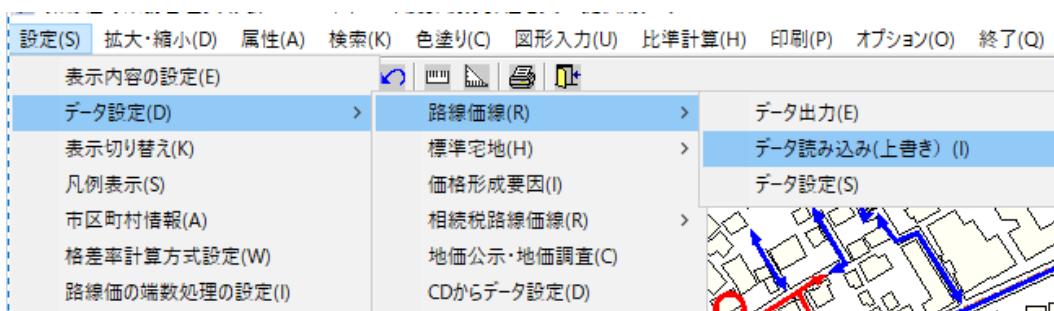
- ⑥ 路線価一覧表の中のJ列「時点修正価格(R5.1.1～R5.7.1)」の欄の入力は任意です。このJ列の時点修正価格は「全国地価マップ」には表示されません。E列に入力した路線価が表示されます。令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間の時点修正を反映させた時点修正後の路線価を管理する必要がある場合には、入力して課税事務にご活用ください。

- ⑦ 項目の入力が完了したら、[ファイル]→[上書き保存]を行い、エクセルシートへの入力作業を終了します。

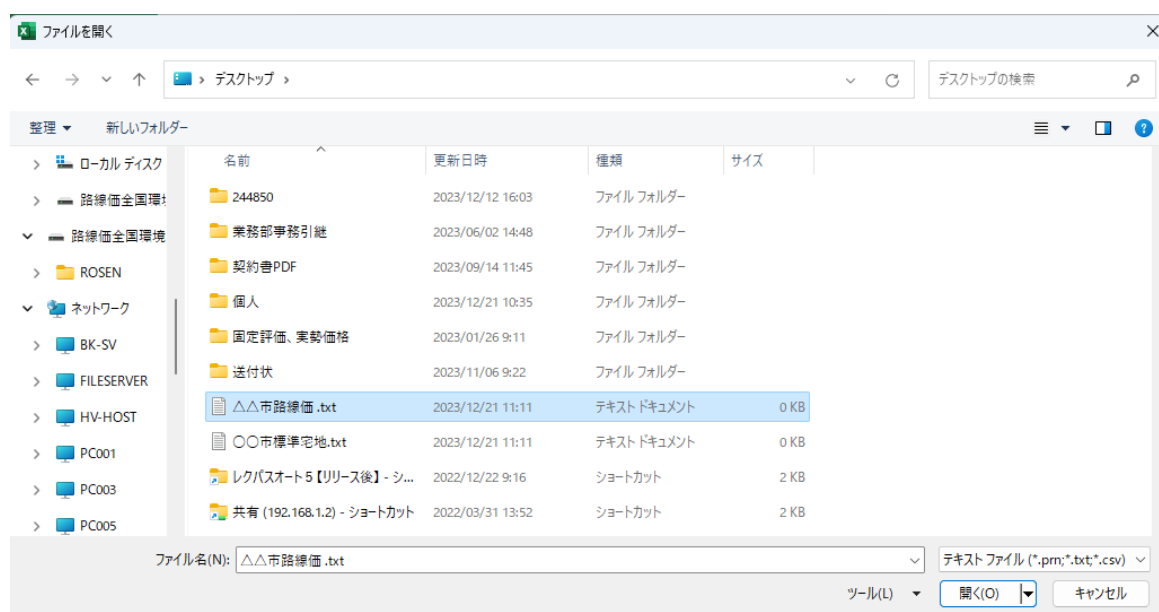
- ⑧ ⑦で保存したエクセルデータを業務管理システムに読み込ませます。前述①ウ(12ページ参照)で最小化した業務管理システムを画面に再表示します。更新したデータを業務管理システムに読み込ませます。

ア 画面左上

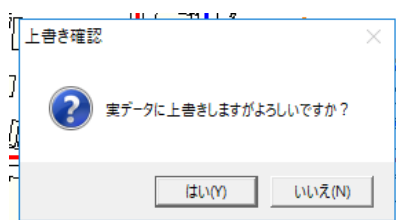
[設定]→[データ設定]→[路線価線]→[データ読み込み(上書き)]を実行します。



イ 下図の「路線価線データ読み込み」画面が表示されます。データの保存先（デスクトップ）を選択します。保存したファイル（△△市路線価）を選択し、右下「開く」をクリックします。

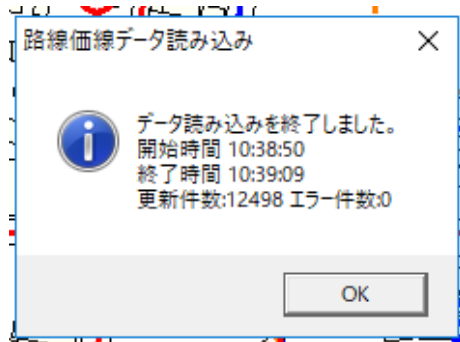


ウ 「[実データに上書きしますがよろしいですか?]」と画面に表示されますので「はい」をクリックします。



エ 「路線価線データ読み込み」画面のエラー件数が「0」であることを確認のう え、[OK]をクリックします。これで路線価線データが更新されました。なお、エラー件数が「0」にならなかった場合は、エラー件数の下に表示される「ログ

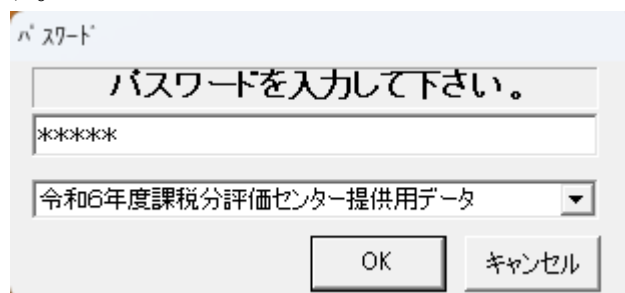
保存先」を参照し、エラーを修正（エクセルデータの修正）してください。



(3) 標準宅地属性データの一括入力

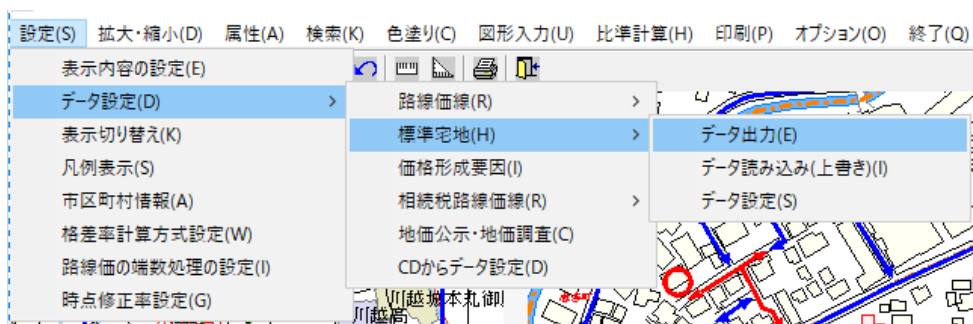
① 業務管理システムでは、貴市町村内の標準宅地に係る属性データをエクセルシートで一括入力することができます。まず、デスクトップ画面にある「業務管理システム Ver. 5.00」のアイコンをクリックします。

パスワードを入力します。パスワード入力欄下のプルダウンメニュー（データグループ）から「令和6年度課税分評価センター提供用データ」を選択し[OK]をクリックします。

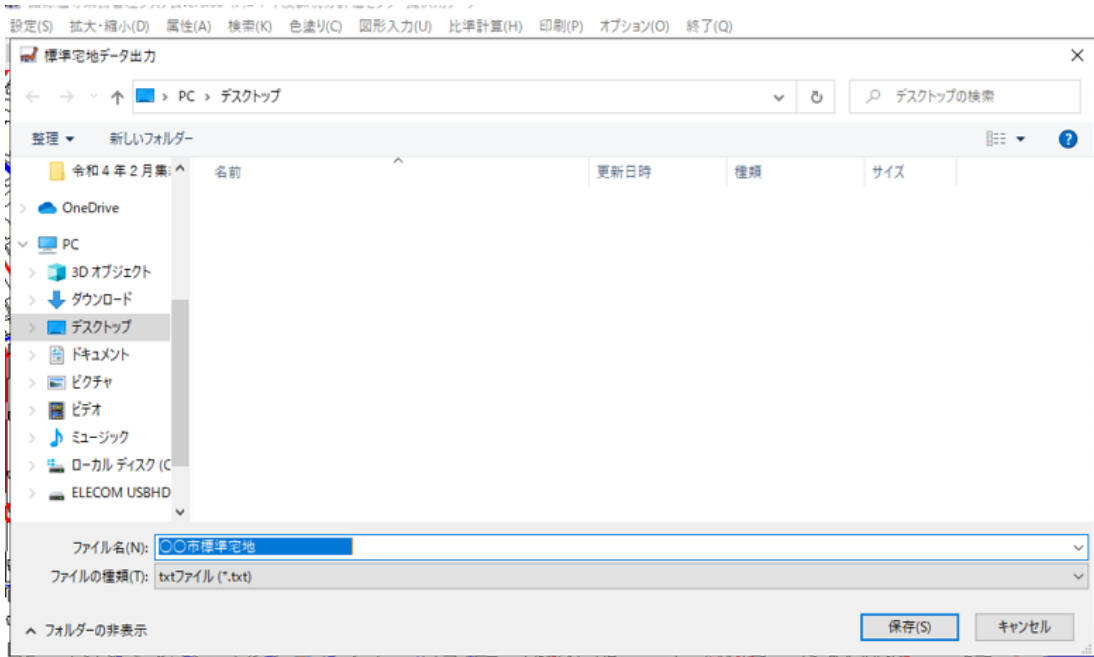


ア 画面左上

[設定]→[データ設定]→[標準宅地]→[データ出力]を実行します。



イ 「標準宅地データ出力」の画面が表示されます。下方の「ファイルの種類」のプルダウンメニューから[txt ファイル (*.txt)]を選択します。出力したデータを保存する保存先を指定します。ここでは、保存先を「デスクトップ」としました。次に、下方の「ファイル名」に任意のファイル名（例えば「〇〇市標準宅地」）をつけて入力します。右下の[保存]をクリックします。

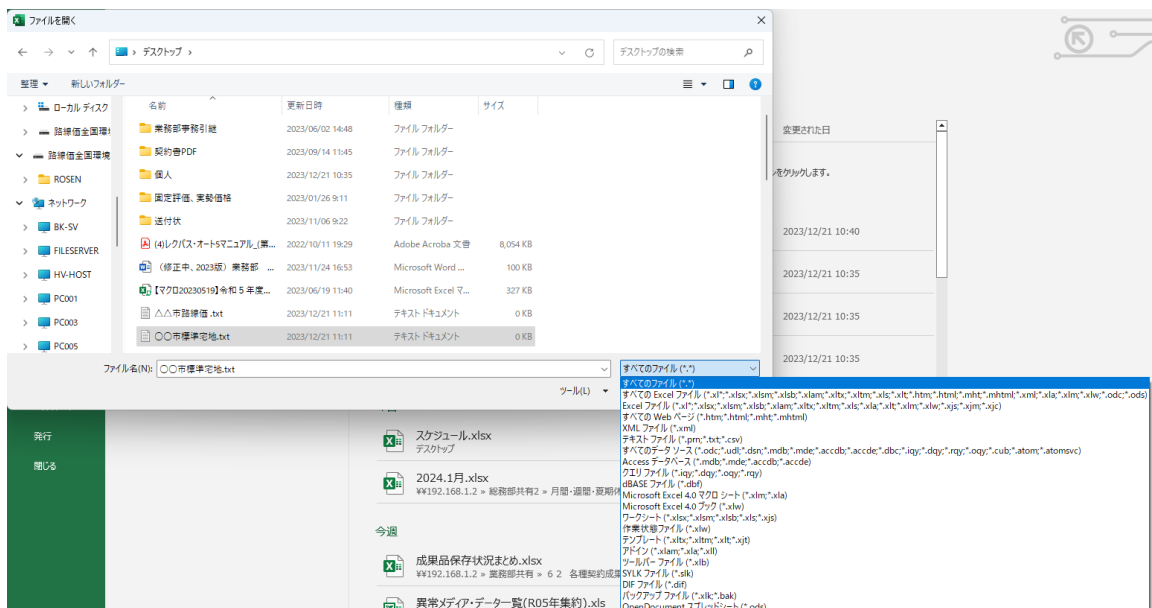


ウ 保存後、地図画面右上の最小化ボタンを押し、最小化してください。

- ② エクセルを起動し、①イでデスクトップに保存したファイルを開きます。具体的な操作手順は、次のとおりです。

ア エクセルを起動し、[ファイル]→[開く]を実行します。

イ [ファイルを開く]の画面が表示されます。①イで指定した保存先「デスクトップ」を選びます。次に、下方右側のプルダウンメニューから「すべてのファイル」を選択すると、①イで保存したファイル（〇〇市標準宅地）が表示されます。



- ウ ○○市標準宅地を選択して、右下の[開く]をクリックすると [テキストファイルウィザード 1/3] の画面が表示されますので、右下の[次へ]をクリックします。

テキストファイルウィザード - 1/3

選択したデータは区切り文字で区切られています。
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください：

コンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

取り込み開始行(R): 1 元のファイル(O): 932 : 日本語 (シフト JIS)

先頭行をデータの見出しとして使用する(M)

ファイル C:\Users\saito-m\Desktop\○○市標準宅地.txt のプレビュー

標準宅地番号	標準宅地番号(新)	基準・標準宅地コード	基準・標準宅地項目	所在	用途地区区分コード	用	
418	2	標準宅地	寿町2丁目256-13	412	村落	7	418
1606	2	標準宅地	野田町2丁目3-3	406	併用住宅	7	1606
2125	2	標準宅地	砂字漆谷983-11	405	普通住宅	7	2125
2124	2	標準宅地	砂字西原899-3、-10	405	普通住宅	7	2124

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

- エ 続いて [テキストファイルウィザード 2/3] の画面が表示されますので、右下の[次へ]をクリックします。

テキストファイルウィザード - 2/3

フィールドの区切り文字を指定してください。 [データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されます。

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

コンマ(C)

スペース(S)

その他(Q):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(B)

文字列の引用符(Q):

データのプレビュー(E)

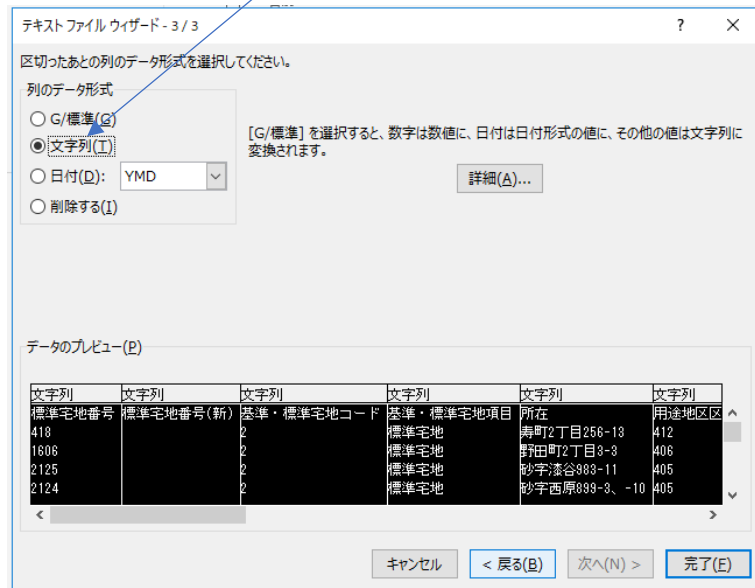
標準宅地番号	標準宅地番号(新)	基準・標準宅地コード	基準・標準宅地項目	所在	用途地区区分
418		2	標準宅地	寿町2丁目256-13	412
1606		2	標準宅地	野田町2丁目3-3	406
2125		2	標準宅地	砂字漆谷983-11	405
2124		2	標準宅地	砂字西原899-3、-10	405

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(E)

オ 続いて〔テキストファイルウィザード 3/3〕の画面が表示されます。
列のデータ形式の「文字列」にチェックを付けてください。

「データのプレビュー」の標準宅地番号・標準宅地番号(新)等のすべての項目について、シフトキーを押しながらカーソルを各項目の枠内でクリックして黒く反転させ、右下の[完了]をクリックします。

列のデータ形式「文字列」



③ 標準宅地一覧表がエクセルシートで表示されます。(必要に応じて標準宅地番号順に並び変えてください)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	標準宅地番号	標準宅地番号(新)	標準・標準宅地コード	標準・標準宅地項目	所在	用途地区区	用途地区区	価格(円/m ²)	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	時点修正率	状況類似地
2	1015		2	標準宅地	寺井字柳橋	405	普通住宅	22800	7	0.997	22700					1015
3	2126		2	標準宅地	霞ヶ関東3	405	普通住宅	98000	7	0.993	97300					2126
4	2125		2	標準宅地	砂字漆谷9	405	普通住宅	123000	7	0.983	120000					2125
5	2124		2	標準宅地	砂字西原8	403	普通商業	139000	7	0.985	136000					2124
6	350		2	標準宅地	今福字新川	412	村落	28000	7	0.997	27900					350
7	1602		2	標準宅地	砂新田1丁	405	普通住宅	115000	7	0.988	113000					1602

※各自治体においてエクセルで各種資料を作成・管理している場合、標準宅地番号を突合して、価格や時点修正率等の属性情報をコピー&ペーストする等を行い、当センター提供データの作成に活用することが可能と考えられます。

表示されるエクセルシートの列の項目は、次の順番で並んでいます。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P

- A = 標準宅地番号 ※1
- B = 標準宅地番号(新)
- C = 基準・標準宅地コード ※2
- D = 基準・標準宅地項目 ※3
- E = 所在 ※4
- F = 用途地区区分コード ※5
- G = 用途地区項目 ※6
- H = 価格(円/m²)
- I = 時点修正率期間コード ※7
- J = 時点修正率(R5.1.1～R5.7.1)
- K = 時点修正価格(R5.1.1～R5.7.1)
- L = 時点修正率(R5.1.1～R6.7.1)
- M = 時点修正価格(R5.1.1～R6.7.1)
- N = 時点修正率(R5.1.1～R7.7.1)
- O = 時点修正価格(R5.1.1～R7.7.1)
- P = 状況類似地域番号

※1 Aの「標準宅地番号」欄には、各市町村が設定している標準宅地番号が入力されています。

※2 Cの「基準・標準宅地コード」欄には、各市町村が選定している基準宅地(市町村内に1ヶ所)には「1」が、基準宅地以外の標準宅地には「2」が入力されています。空白の場合は、「基準宅地」には「1」を「標準宅地」には「2」を入力してください。コードが間違っていたら、コードを入れ替えてください。

空白のためコードを入力した場合、又はコードを修正した場合は、C欄にコードを入力すればD欄に基準・標準宅地項目を入力する必要はありません。C欄にコードを入力することにより、D欄には自動的に「基準宅地」または「標準宅地」が表示されます。

※3 Dの「基準・標準宅地項目」欄には、「基準宅地」(市町村内に1ヶ所)または「標準宅地」と表示されています。

※4 Eの「所在」欄には、各市町村から提供があった標準(基準)宅地の所

在が表示されています。

※5 Fの「用途地区区分コード」欄には、各市町村が定めた用途地区に応じたコードが入力されています。空白の場合は、下表の「用途地区区分コード表」に基づき区分コードを入力してください。用途地区が間違っている場合は区分コードを変更してください。
空白のため、区分コードを入力した場合、又は区分コードを修正した場合は、F欄に区分コードを入力することにより、G欄には自動的に「用途地区名称」が表示されます。

※6 Gの「用途地区項目」欄には、各市町村が定めた用途地区区分コードに応じた用途地区名称が表示されています。

※7 Iの「時点修正率期間コード」欄には、「8」が入力されています。

用途地区区分コード表

用途地区区分コード	用途地区名称	用途地区区分コード	用途地区名称
400	繁華街	410	観光
401	高度商業Ⅰ	411	散在
402	高度商業Ⅱ	412	村落
403	普通商業	413	集落
404	高級住宅	414	商業
405	普通住宅	415	集団
406	併用住宅	416	その他
407	大工場	417	調整区域
408	中小工場	418	ビル街
409	家内工業	419	高度商業

④ 標準宅地一覧表の中のH列「価格(円/㎡)」の欄は、市町村の窓口で一般の閲覧に供している標準宅地ごとの価格(カンマ「,」なしの生数字)を入力してください。
「全国地価マップ」の価格は、このH列の価格が表示されます。

価格調査基準日(令和5年1月1日)の価格を一般の閲覧に供している市町村は、H列「価格(円/㎡)」の欄に価格調査基準日の価格を入力してください。

なお、時点修正後(令和5年7月1日)の価格を一般の閲覧に供している市町村は、H列「価格(円/㎡)」の欄に時点修正後の価格を入力してください。

例年、H列が空白の市町村がありますので、入力漏れには十分注意してください。

また、「市街地宅地評価法」を適用している地域におけるH列の価格(円/㎡)については、固定資産評価基準第1章土地第12節経過措置一「・・・標準宅地の適正な時価を求める場合には、・・・地価公示価格及び不動産鑑定士又は不動産鑑定

士補による鑑定評価から求められた価格等を活用することとし、これらの価格の7割を目途として評定するものとする。・・・。」とされていることから、地価公示価格及び鑑定評価から求められた価格等の概ね7割の数値となることにご留意ください。

- ⑤ 標準宅地一覧表の中のJ列「時点修正率(R5.1.1～R5.7.1)」の欄には、価格調査基準日から賦課期日の半年前（令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間）までの間の地価下落を評価に反映させた場合は、その時点修正率を入力してください。

（例）令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間に地価が2.5%下落し、それを評価に反映させた場合は、「0.975」と入力してください。時点修正率は、小数点以下第3位まで表示できます。

なお、令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間の下落修正を行わなかった場合は「1.000」と入力してください。

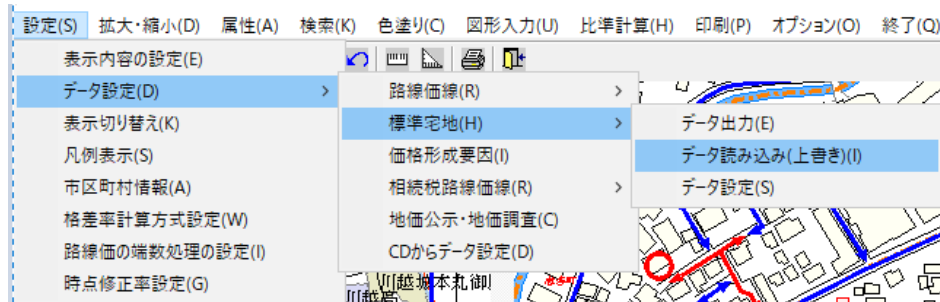
- ⑥ 標準宅地一覧表の中のK列「時点修正価格(R5.1.1～R5.7.1)」の欄の入力は任意です。このK列の時点修正価格は「全国地価マップ」には表示されません。H列に入力した価格が表示されます。令和5年1月1日から令和5年7月1日の半年間の時点修正を反映させた時点修正後の価格を管理する必要がある場合には、入力して課税事務にご活用ください。

- ⑦ 項目の入力が完了したら、[ファイル]→[上書き保存]を行い、エクセルシートへの入力作業を終了します。

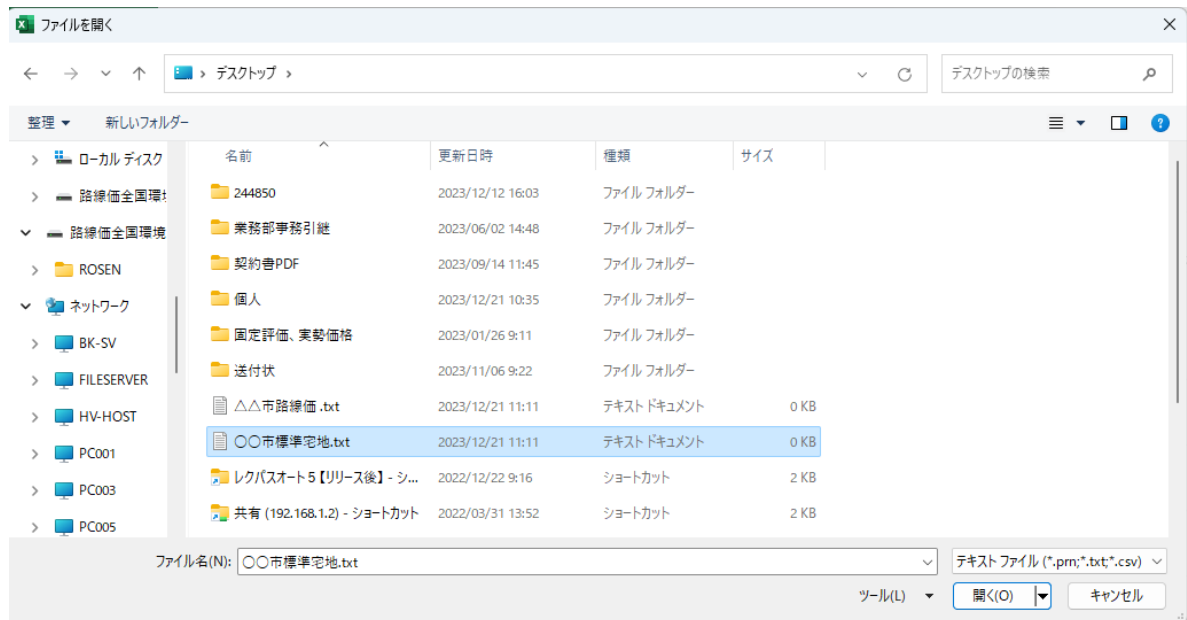
- ⑧ ⑦で保存したエクセルシートのデータを業務管理システムに読み込ませます。具体的な操作手順は、前述①ウ（20ページ参照）で最小化した業務管理システムを画面に再表示します。更新したデータを業務管理システムに読み込ませます。

ア 画面左上

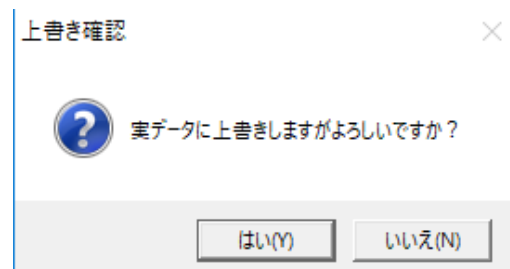
[設定]→[データ設定]→[標準宅地]→[データ読み込み（上書き）]を実行します。



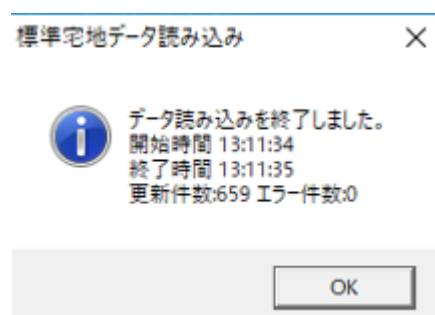
イ 「標準宅地データ読み込み」画面が表示されます。データの保存先（デスクトップ）を選択します。保存したファイル（〇〇市標準宅地）を選択します。右下[開く]をクリックします。



ウ 「[実データに上書きしますがよろしいですか?]」と画面に表示されますので、[はい]をクリックします。

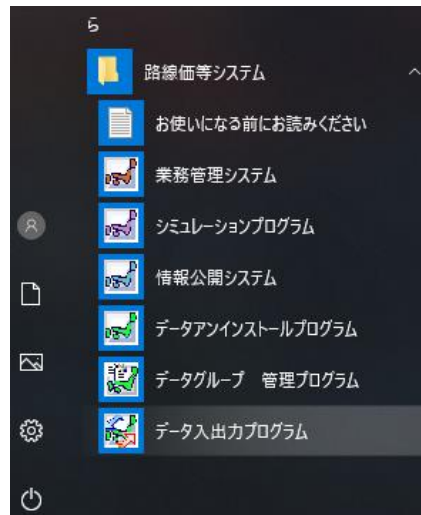


エ 「標準宅地データ読み込み」画面のエラー件数「0」であることを確認のうえ、[OK]をクリックします。これで標準宅地データが更新されました。なお、エラー件数が「0」にならなかった場合は、エラー件数の下に表示される「ログ保存先」を参照し、エラーを修正（エクセルデータの修正）してください。

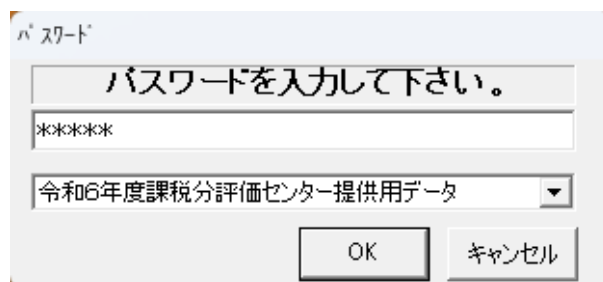


5 評価センター提供用データの出力方法について

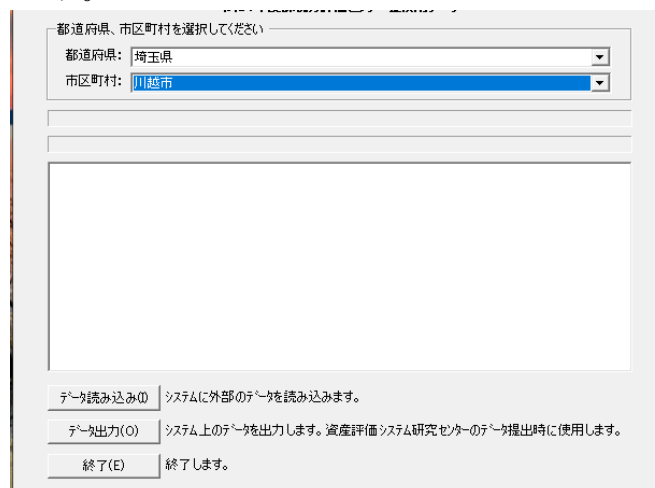
- (1) 「業務管理システム」を起動している場合は、システムを終了します。
- (2) デスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックし、[路線価等システム] を表示します。その中にある [データ入出力プログラム] をクリックします。



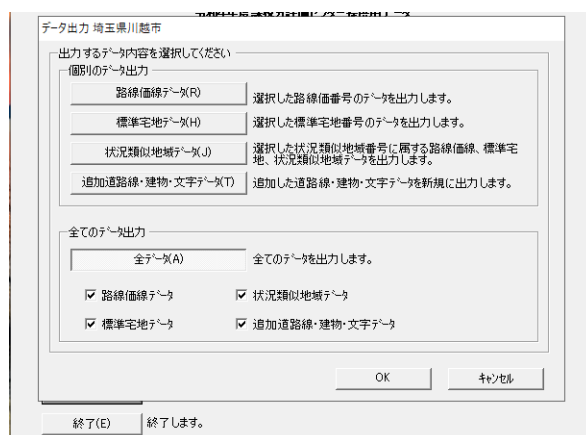
- (3) パスワードを入力します。パスワード入力欄下のプルダウンメニューから、「令和6年度課税分評価センター提供用データ」を選択し [OK] をクリックします。



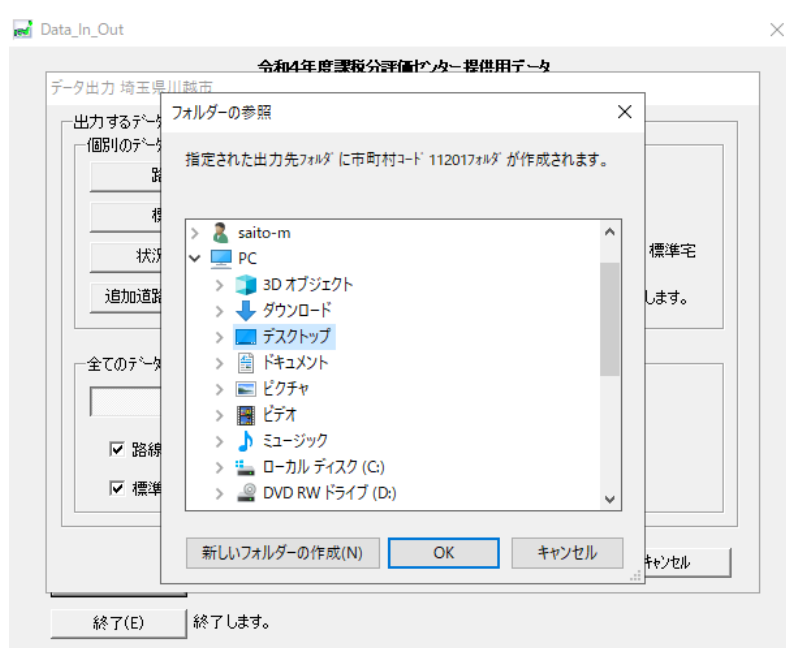
- (4) 「Data_In_Out」画面が表示されます。貴市町村所在の都道府県をプルダウンメニューから選択し、次に貴市町村をプルダウンメニューから選択し、下方の [データ出力] をクリックします。



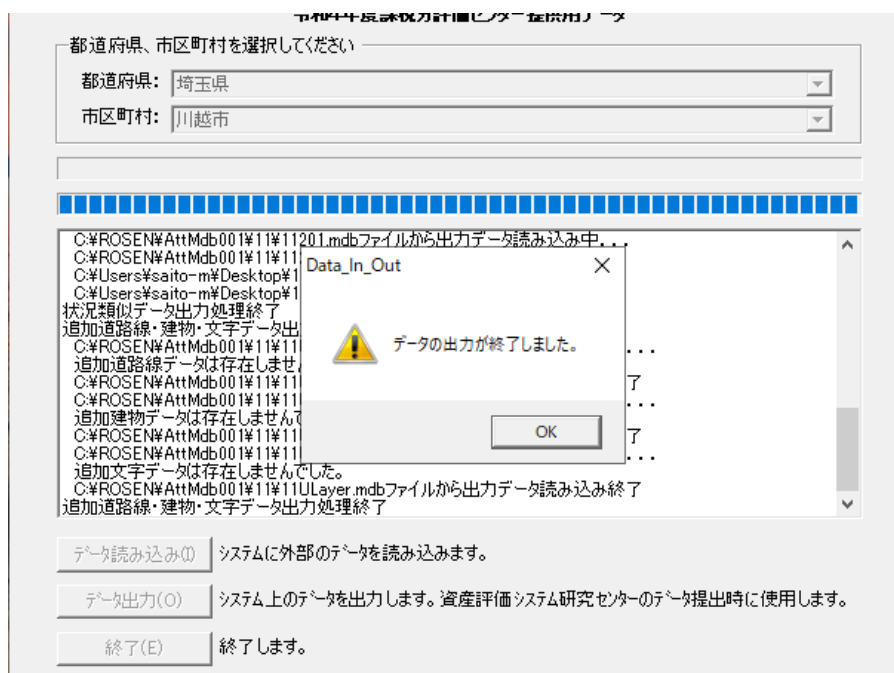
- (5) 「データ出力〇〇県〇〇市(区町村)」と画面に表示されます。中程の「全てのデータ出力」の[全データ]の欄をクリックし、下段の各データの先頭の欄に「レ」のチェックがされたことを確認し、[OK]をクリックします。



- (6) 「フォルダーの参照」画面が表示されます。提供データの出力先を指定してください。[OK]をクリックすると、指定した出力先に全国地方公共団体コード単位のフォルダーが作成されて、データの出力が始まります。ここでは、出力先フォルダーを「デスクトップ」としました。



- (7) データの出力が終了すると「データの出力が終了しました。」と表示されます。下の[OK]をクリックします。[Data_In_Out]画面左下の[終了]をクリックすると「終了しますか?」と表示されますので「はい」をクリックしてください。



- (8) ここではデータ出力先を「デスクトップ」としました。デスクトップに全国地方公共団体コード（5桁）のフォルダーが表示されています。フォルダーをクリックすると、以下のような内容が表示（1個の市区町村テキストドキュメントと21個（HYO J 6個・JYOU 6個・ROSN 9個）のファイルが作成されます。）されることを確認してください。これで、評価センター提供用データの完成です。



名前	更新日時	種類	サイズ
48001.log	2023/01/17 16:54	テキストドキュメント	1 KB
HYOJ_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	164 KB
HYOJ_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	9 KB
HYOJ_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	3 KB
HYOJ_SYM.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	164 KB
HYOJ_SYM.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	9 KB
HYOJ_SYM.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	3 KB
JYOU_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	18 KB
JYOU_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	3 KB
JYOU_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	1 KB
JYOU_LIN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	19 KB
JYOU_LIN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	61 KB
JYOU_LIN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	1 KB
ROSN_ANN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	1,140 KB
ROSN_ANN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	107 KB
ROSN_ANN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	31 KB
ROSN_LIN.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	1,152 KB
ROSN_LIN.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	379 KB
ROSN_LIN.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	31 KB
ROSN_SYM.DBF	2023/01/17 16:54	DBF ファイル	2,289 KB
ROSN_SYM.SHP	2023/01/17 16:54	SHP ファイル	214 KB
ROSN_SYM.SHX	2023/01/17 16:54	SHX ファイル	62 KB

- (9) 当センター提供用の CD-R・DVD-R のいずれかに、デスクトップ上に出力された全国地方公共団体コードがついているフォルダーのデータをコピーして、指定された期日までに貴市町村の所在する都道府県の市町村税担当課へご提出をお願いします。作成されたデータ以外のデータ（エクセルデータ等）はフォルダに入れないください。

6 時点修正後価格のデータを提供する市町村について

時点修正後(令和5年7月1日)の標準宅地価格、路線価のデータを提供する市町村にあっては、CD等及びCD等のケースに貼付するラベル等に朱書きで「時点修正後」と表示して提供をお願いします。

7 「全国地価マップ」における「時点」の表示について

「全国地価マップ」において、画面上の「標準宅地」のマーク（赤丸印）、「路線価線」（赤・青矢線）をクリックすると、画面左に表示される詳細情報の一項目として「時点」が表示されます。「時点」欄には、提供したデータに応じて以下のように表示されます。

- ・ 価格調査基準日のデータを提供した市町村
⇒ 「価格調査基準日(令和5年1月1日)の価格を表示」

- ・ 時点修正後の価格のデータを提供した市町村
⇒ 「時点修正後(令和5年7月1日時点)の価格を表示」

【問合せ先】

一般財団法人資産評価システム研究センター 業務部
e-mail : teisyutsu@recpas.or.jp